

《Lesson 1》「be 動詞の文」と「一般動詞の文」の違い

「一般動詞の文」は「be 動詞の文」と違い、日本語で言う

『動詞(食べる、歩くなど、動作を表す単語)』が入っているのが特徴

です。(一般動詞＝日本語でいう『動詞』)

<be 動詞の文の例>

私は医者です。 彼は背が低かったです。 あの学校は古くないです。
(日本語でいう「動詞」が入っていない)

<一般動詞の文の例>

私は**走ります**。 彼女は英語を**教えます**。 彼はギターを**弾きます**。
(「走る」「教える」「弾く」は、日本語でいう『動詞』)

【一般動詞とは】

(1) 動作や状態を表す単語(基本的に「う段」の音で終わる)

<例> **食べる** / **飲む** / ***好き** / ***ほしい**

(*日本語で言う『動詞』は基本的に「う段」の音で終わるが、**like**(好き)や **want**(ほしい)は例外。
あえて言うのであれば「好む」「求める」となる。)

(2) 英語には『be 動詞』があるため、日本語でいう『動詞』は、英語では『一般動詞』と呼ばれる。